

八重垣





出雲の国、
八岐大蛇を退治した
須佐之男の命は

大蛇の生贄となる
所だった
櫛名田比売と
むすばれました。

八重垣
八雲に
雲八出
妻龍

三久が立てた宮には
八重にも雲が
立ち上りました…

八重垣作る
その八重垣を…

あつ



あああ
んっ…!

新婚の
住まいを誰にも
見させず

誰にも
煩わさせずに
隠して
くれる…

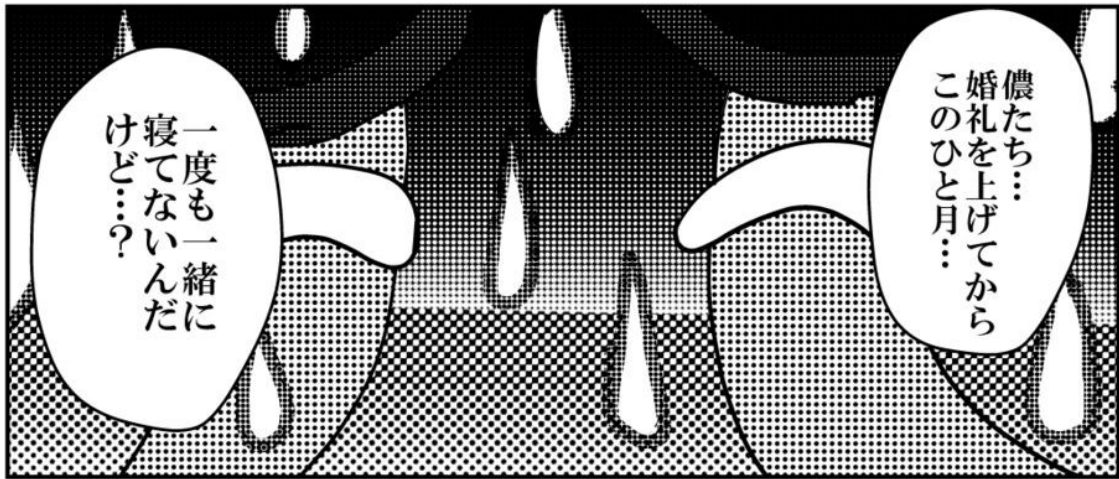
御殿を厚く囲む
雲は…まさに
張り巡らせた
八重の玉垣

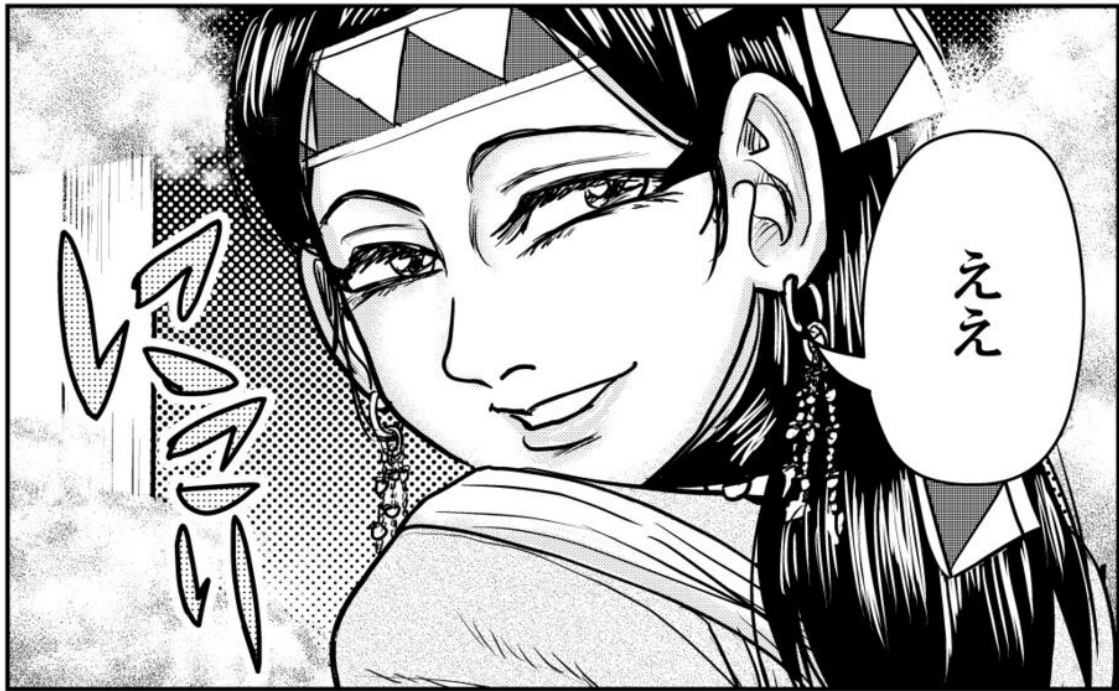
あつあつ…
はあ…

あつあつあつ

あつあつあつ







ええ



確かにそう
ですが…
それが如何
したのです？

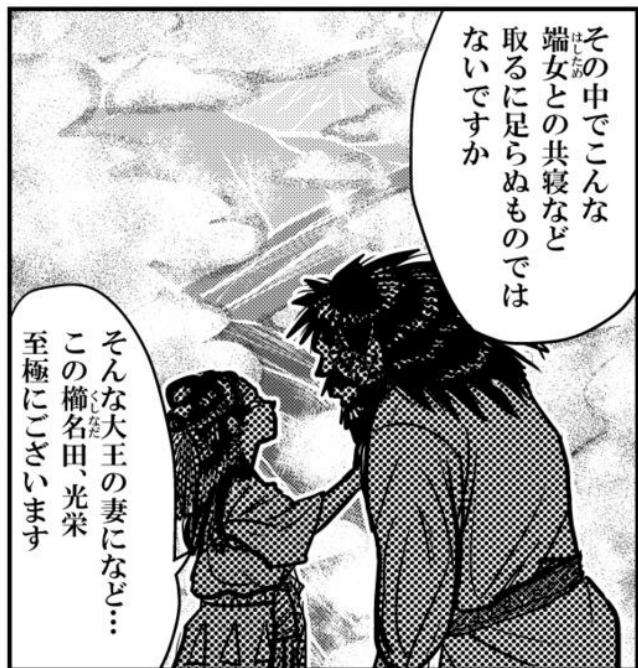
命様は
この出雲の
大王にござい
ます

この八尋の
国のものは
みなあなた様
のものにござい
ますよ？



いやでも…
比売！

ア、ア、ア

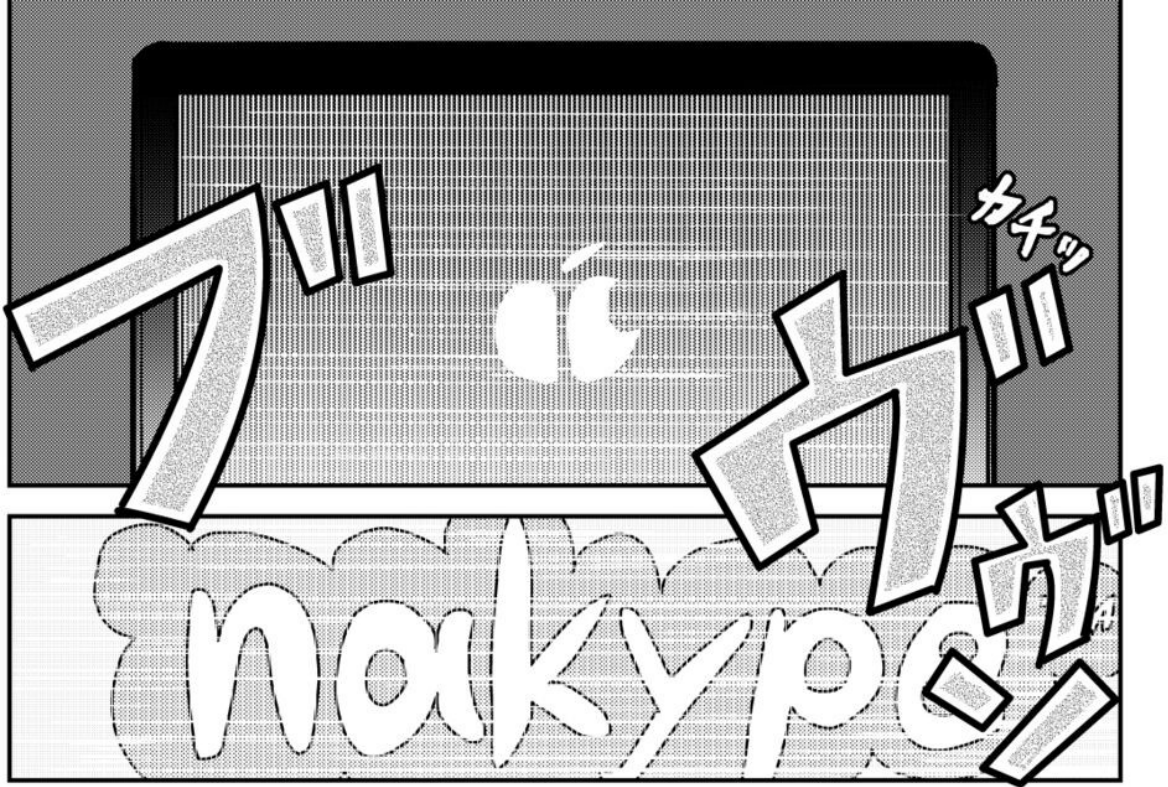


その中でこんな
端女との共寝など
取るに足らぬものでは
ないですか

そんな大王の妻になど…
この櫛名田、光榮
至極にございます



……







あの人はこちらが
OK出さなきゃ
指一本触れや
しないよ

はー、意外と
チキンなの…



まだなの!?
うそーっ!

なんで
ー!?

私がやりたくない
からに決まってる
でしょ!



へえー…、
八雲の垣に
囲まれた
籠り屋で

どんな
ハレンチな事
してるかと
思ったら…

…いいの?
アンタの?
旦那さんは…



人家の事情に
首つっこむんじや
ねえの!

だって
須佐之男の命
でしょ?

アンタを
八岐大蛇から
助けてくれた!











は…!?

なに櫛名田比売
キレてんの?!

あつま
吾が夫に
対する侮辱!
許さぬぞ!

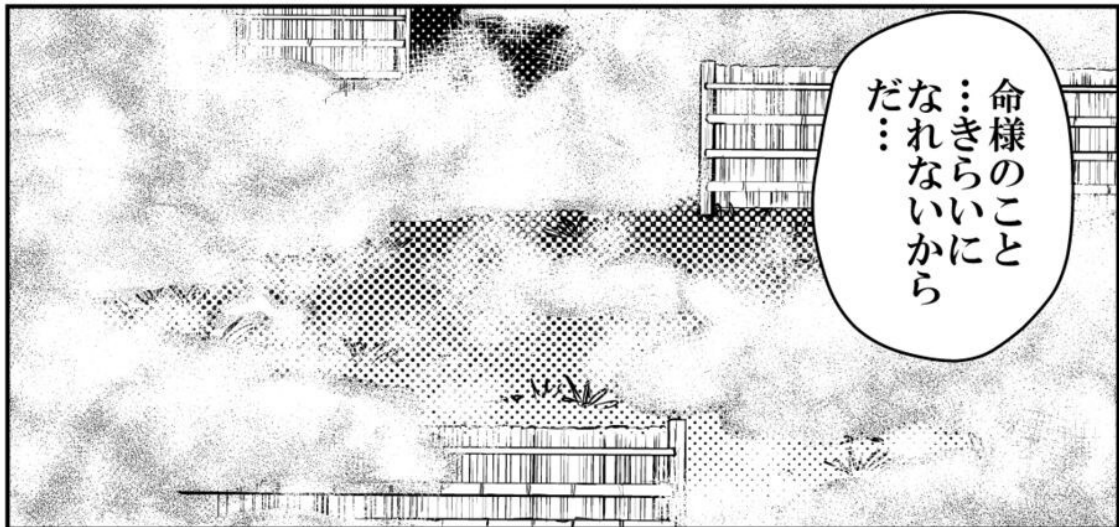
それ以上のたまって
みよ その腐った
口を割り裂いて…

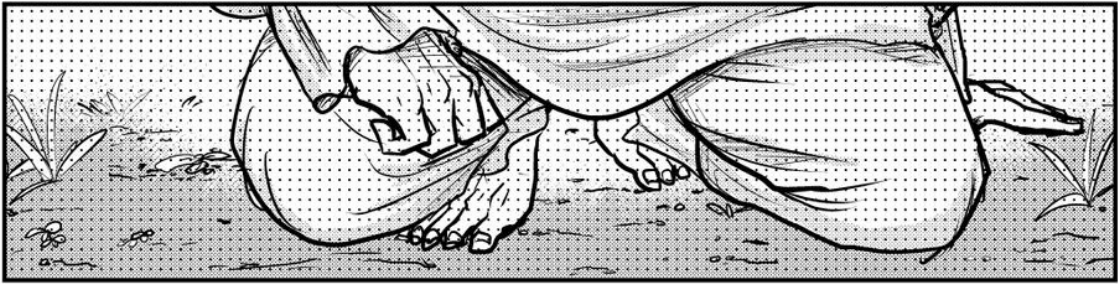
出雲の肥の川より
産し、灼熱で溶か
した鉄を流し
入れようぞ!

はあー!?
自分でも散々
言ってたくせに

どうしちゃった
の一体!?

くしなだ
櫛名田…





あ
「吾は天照大神の
同母弟
いるせ」

はやすさのおのみこと
「速須佐之男の命
なり……」



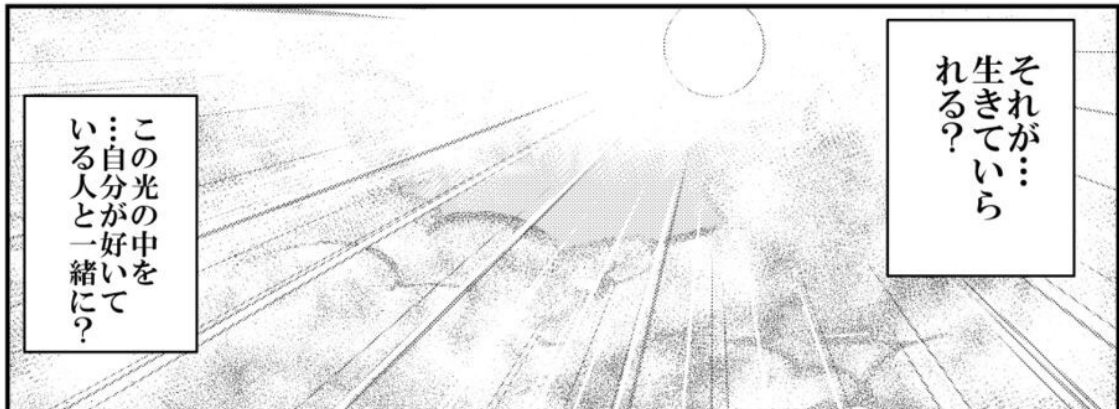
ずっと死ぬ気で
いたのだ





この8年間
姉様たちが捧げ
られていくなか

ずっと自分の
番を待っていた
のだ



それが…
生きていら
れる？

この光の中を
…自分が好いて
いる人と一緒に？



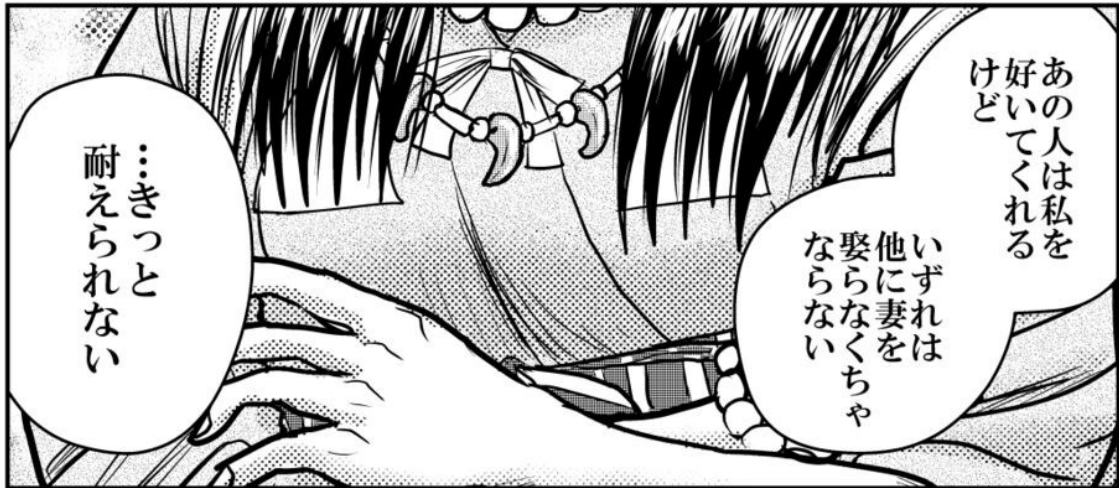
…ちがうな



やはり死んで
いるのと変わら
ない…

あの人は
この出雲を
治める王だも
の。

出雲との血縁
と…あと子供を
一人でも産めば
あとは用なし



…きつと
耐えられない

あの人は私を
好いてくれる
けど

いずれは
他に妻を
娶らなくちゃ
ならない



私は…

一度でも抱かれて
しまえば
私は死んでしまっ
ちゃう

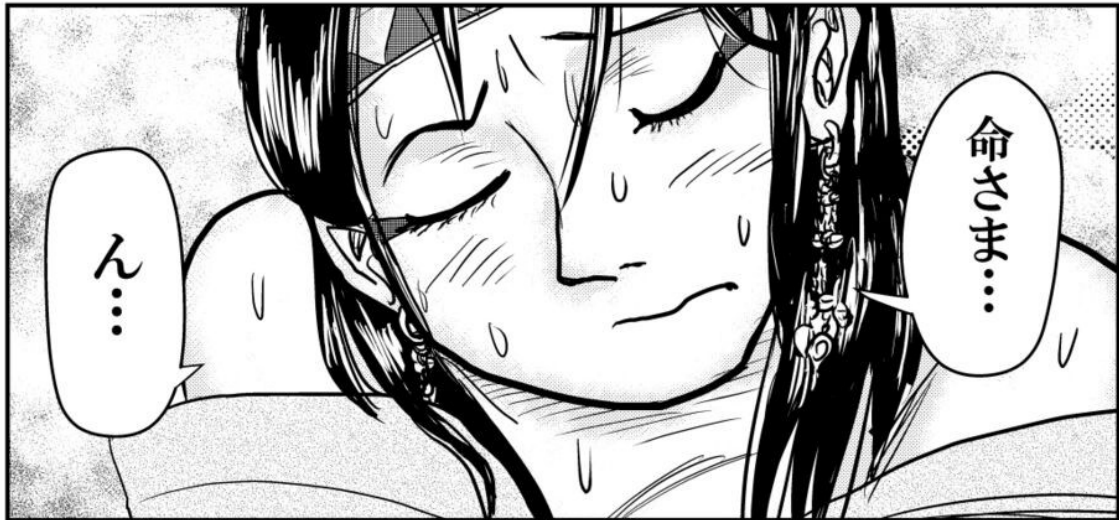
他の女も
味わうだろ
うそれを
知って
しまっ
たら…





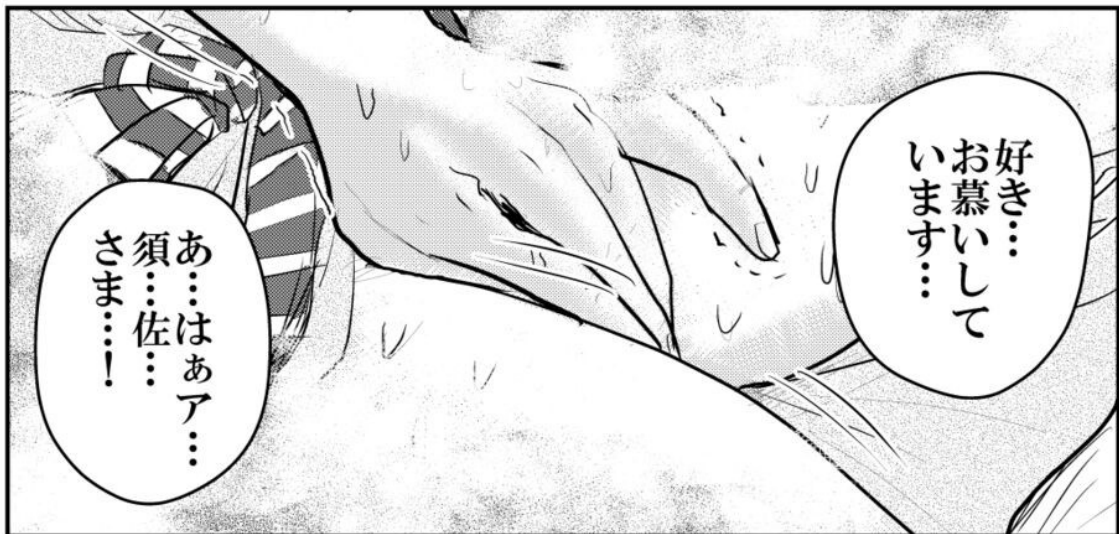
あつ

須^す…佐^さ之^の男^お…
さま…



命^{いのち}さま…

ん…



好き…
お慕^{お慕}いして
います…

あ…はあア…
須^す…佐^さ…
さま…!



見て…私だけ
見て…おねがい

他の人なんて
…いいいやっ…

私だけ愛して…
愛してる…!



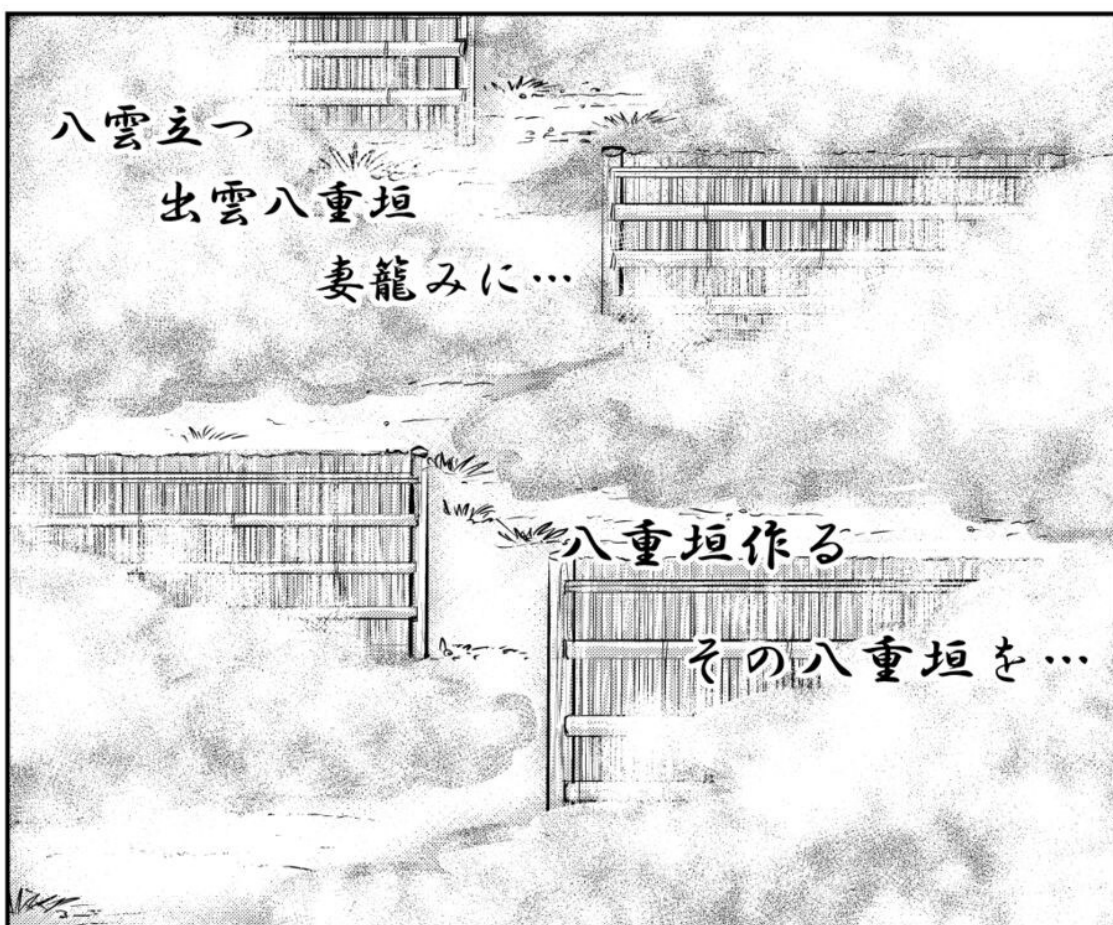
ああああ…
須佐さま!
ああああ…



ひめ
比売…



くしなだ
櫛名田
ひめ
比売よゝ



八雲立つ
出雲八重垣
妻籠みに…

八重垣作る

その八重垣を…